

# レースのラップを比べよう!

木村佳司

ラップが300個記録できて、しかもパソコンとの接続が容易なウォッチ「セイコースーパーアスリート」が発売された。その開発者・小越氏にインタビューしてみた。

## 偶然

「あれ、木村さんですか？」列車の中で偶然に声をかけてきた人、それが今回登場していただく小越君である。彼は自分の腕につけたデジタル時計を私に見せながらこう続けた。

「今度セイコーで発売したスーパーアスリートって時計です。オリエンテーリングにも使えると思うのですが、ぜひ一度使って感想を聞かせて下さいよ。」

彼と私はなぜか知り合いである。セイコーがアスリート仕様の時計を企画するにあたり、そう言えば過去に商品に対する要求をいろいろ述べたことがあった。

さて後日、小越君が木村の自宅を訪ねてきてくれた。

## パソコンと連動する

### 木村

この商品の特徴はなに？

### 小越

最大の特徴はラップ情報を無線でパソコンに入力することができるということです。

### 木村

それは確かに魅力だね。オリエンテーリング大会や大きなクラブの練習会では、電子パンチ方式を使うことが多くなっているけど、小規模な大会や練習会ではまだまだラップ測定は腕時計に頼っている。データを取るのには慣れれば簡単なんだけど、これを統計処理するための入力が実は一番大変なんだ。



小越 剛  
セイコーエプソン (株)  
ウォッチ事業部

セイコースーパーアスリートの開発者  
「小人数での開発だったので、一人でいろんな事をやりました。」

### 小腰

この時計「スーパーアスリート」を買うと、パソコンと接続するUSBのユニットが同梱されています。

この上に時計を乗せて操作すると、時計の中のラップデータを吸い上げることができるのです。そしてこのデータはパソコンの表計算ソフトEXCELにドラッグ&ドロップで貼り付けることができますよ。

### 木村

やってみると確かに入力の手間がなくて便利だね。でもこのユニットをすべての時計に同梱しているなんて高くないのかな？

### 小越

定価は¥17,000で売っていますが、実売価格はそれよりかなり安くなっています。こうした環境を低価格で提供するのもこの商品の特徴なんです。

### 木村

データを転送しているとき、ジジッという音が聞こえるのもいいね。操作に対して何も反応が無いと壊れたような気がするもの。このデータ変調がかかったような音はアナログモデムのようにいかにもデータを転送していますって感じがいいなあ。

こーゆーのって現場の人間は「いい」って言うのだけど、小越君の上司を説得するのに苦労したでしょ？ エライ人になればなるほど、現場を知らなければ知らないほど、こーゆー実戦に関係ない品位にこだわるもの。おっと、これはメーカーで別の商品を開発している私の経験・・・

### 小越

データ転送は時計のピープ音を鳴らす昇圧コイルから磁力を発生させて行っています。このためデータ転送を行うと必然的に音が鳴っ

てしまうのですね。値段とスペースを少しでも削減しようとした苦肉の策です。

でも現場の人は、この音がするの  
がいいって言ってくれますね。



パソコンに接続してラップデータを吸い出しているところ。時計の操作方法が画面で表示されるので、迷うことはない。無線のステーションは USB でパソコンと接続される。時計に標準添付されている。

## ラップ用時計としても・・・

**木村**

さて入力の手間はいいんだけど、実際のラップ計測や時計としての能力が一番大事だね。

**小越**

ラップ計測時計というのはだいたいどれも同じような操作感になってしまいます。要は慣れの問題です。ラップは 300 個まで記憶できますので、だいたいの用途には使えは  
ずです。

**木村**

この時計を使ってみていいなと思うのは、表示の見やすさだね。表面のガラスと液晶表示が近い。

**小越**

それは近く見えるように工夫したのですよ。奥目の液晶だとどうしても見難いですからね。

**木村**

気になるのは大きさ。僕の腕ならまだいいとしても、女性の腕にはちょっとどうかな。

**小越**

この時計を作るにあたっては多くのランナーの意見を聞きました。その結果大きくても見やすい表示が良いとの結論でこのサイズになりました。それでもこの液晶のサイズの割には無理やり押しこんだ構造になっていて、液晶の枠の部分は割りと薄くしました。



闇に光るバックライト表示。夜のトレーニングの事もしっかりと考えてある。(しまった、原稿作成日がバれてしまった)

## 具体的な使い方

**木村**

実際の合宿やレースの後はみんなヘトヘトになって、フィニッシュで座り込む例が多いんだ。そこから PC のある場所まで移動するのは面倒。この時計を使った人からデータ

を集めるには、その座り込んでいる場所まで誰かがデータを集めに回るのが現実的だね。そうすると、PC をもってぐるぐる回るってのはちょっとしんどいな。

ステーションが電池駆動となっていて、そこに色々な人からのデータを溜めておけるようになっているといいね。あとで PC と接続すればいいことになるわけだから。

**小越**

今回は低価格に販売することを目標にしていたので、残念ながら、そこまでの仕様にはなっていません。

**木村**

うーん、ここまでできているのだから、とりあえずそういうユニットを希望するよ。

**小越**

話は変わりますが、実は EXCEL の時刻データはちょっと変わったフォーマットになっているので、単純にドラッグ&ドロップしただけでは自動的に秒単位の表示になりません。そこで私のほうでこれらを修正する EXCEL のマクロを作成しました。こうしたマクロを web サイトに置いておきますので、ユーザに役立てていただきたいと思います。

**木村**

今度は実際に数多くのフィールドでこの時計を使ってみて、その使用感をフィードバックさせてもらいますね。小越くんのサポートを期待しています。

商品についての web サイトは  
<http://www.seiko-syd.co.jp/stopw/>

ネットや店頭価格の調査では実売価格¥12,000 を切っているお店もあるようです。メカ好き、トレーニング好きの方、いじってみてはいかがでしょう。

(おわり)